



協議会だより

平成29年度 評議委員会(総会)を開催しました

～事業計画・予算などが承認されました～

「第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会」の平成29年度総会が、4月25日(火)に、ホテル信濃路で開催されました。

来賓に長谷部好紀長野市地域・市民生活部地域活動支援課長、風間辰一長野県議会議員、柘植圭二長野市議会議員にご出席いただき、第五地区からは評議委員が出席しました。

長谷部地域活動支援課長は、「今年は、介護保険法が改正され要支援1・2の方が利用していた介護予防給付のうち、2つのサービスを市町村で提供する法体制が施行されました。長野市としても、どのようにサービスを提供するか知恵を絞っております。地域の力で取り組んでいただきたい。また、ご承知のように県立大学の寮が後町小学校跡地にでき、若者が大勢集まってきます。中心市街地が若い人で賑わうことを期待しております。新たなまちづくりにご協力願います」と、あいさつされました。

なお、長野市の5月1日付人事異動で、長谷部地域活動支援課長は、人口増推進課長に異動され、後任は片井靖夫地域・市民生活部次長が兼務されます。

風間県議は、「裾花川河川敷には、雑木・雑草が密集しておりましたが、皆さんからの要望で県地方事務所に除草・伐木・除根作業を申し入れ、すっかり綺麗になりました。河川敷内のウォーキングロードも、現在は裾花橋から下流部分ですが、新年度はこれから上流の業務を発注して整備します。地域の皆様の健康長寿を支え、健康増進のために、ゴムチップが敷かれた歩きやすいウォーキングロードを目指します。どうぞご活用ください」。

また、柘植市議は、「第五地区は南北に長い地区です。皆さんで地域福祉、地域防災・減災に取り組んでいただいております。地域がますます発展することを祈念します」と、あいさつされました。

続いて議事に移り、平成28年度事業報告・決算並びに平成29年度事業計画案、予算案、会則の一部変更など一連の議案が承認されました。



また、今回は第五地区環境美化事業表彰規程に基づいて、17年間にわたり環境委員を務め、環境美化事業に従事され、地域の発展にご尽力いただきました、前北石堂町在住の青沼敬様の永年のご功績に、青木会長から感謝状が贈呈されました。青沼様は3月に転居され、3月末で退任されました。

◆◆ 会長あいさつ

第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会 会長 青木 武雄



最近、記録的な大雨や暴風、地震など自然災害が相次いで日本列島を襲い、各地で洪水・土砂災害などが発生しております。このため、防災に対する意識の向上を目指すため、長野市では「地域きらめき隊」を創設してご支援いただき、第五地区には7名の防災士が誕生しました。これから地域のリーダーとして、皆様と協力して、防災・減災のための啓発活動に取り組んでいただきます。

また、介護保険法が4月から改正されました。今までの要支援1・2の方が利用していたサービスの一部が、全国一律のサービスから市町村に移行しました。これを機に、4月から「福祉ワーカー」を採用しました。

第五地区のテーマであります「誰もが 何時でも 居心地よい 第五地区」を実現するため、昨年3月に皆様にお届けしました「地域福祉活動計画」により、福祉のまちづくりの実現に取り組んでまいります。

私どもが暮らしている第五地区は、善光寺門前町表参道の玄関口を控えており、中心市街地の活性化、少子高齢化による人口減少対策、空き家問題など課題が山積しております。

皆様のご支援・ご協力をいただき、認め合い、活かし合いながら、共に生きていく第五地区を目指して取り組んでまいります。どうか、皆様のより一層のご理解、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

事業計画

第五地区のキャッチフレーズである『誰もが、何時でも、居心地よく』を基本とし、お互いに支え合い、安心して暮らせる『心潤う豊かなまちづくり』を目指すため、4つの部会がそれぞれの事業計画に沿って活動します。

総務広報部会

部会長 五明 名兄

当協議会の活動を広く住民や他地区に理解いただくための広報活動を行い、併せて商工会等との連携を図り「心潤う豊かなまちづくり」を目指す事業を実施します。



- 広報活動の充実（協議会だよりの発行等）
- 視察研修の実施
- 5地区合同の「活き生きみんなでトーク」の開催
- 地域間交流事業の推進
- 商工会との連携事業の推進
- 地域きらめき事業の推進
- 福祉のまちづくりの推進 など

安全防災部会

部会長 北村 健一

安全で安心して暮らせるまちづくりを目指すため、交通安全・防災・防犯関係の事業を実施します。



- 防災訓練の実施
- 防災マップの有効利用
- 防災グッズ等の整備
- 防災研修会の実施
- 交通安全、犯罪防止研修会の開催
- 防災士関連の避難行動等の仕組みづくり
- 福祉のまちづくりの推進 など

健康福祉環境部会

部会長 戸谷 裕治

「思いやりの心で集う美しいまちづくり」を目指し、住民の健康福祉に関する事業や、地区の環境美化に関する事業や活動を実施します。



【健康福祉事業】

- 福祉研修会の開催
- 健康づくりに関する事業の開催
- 中心5地区「地域たすけあい事業」の推進
- 福祉のまちづくりの推進 など

【環境美化活動】

- 裾花川河川敷清美の実施
- ゴミ分別・収集に関する業務及び事業の実施
- ゴミ処理、分別収集に関する研修会の開催
- 落書き消し活動の実施
- 資源物リサイクル活動の実施
- 福祉のまちづくりの推進 など

生涯学習青少年育成部会

部会長 青沼 壽一

次世代を担う青少年の育成や、人権意識の高揚のための啓発活動を行うため、家庭・学校・地域の連携事業、生涯学習推進、世代間交流、人権教育、文化・スポーツ事業を実施します。



- 地区スポーツ大会の開催
- 早朝マラソン大会の開催
- 生涯学習、青少年に関する視察研修の開催
- 各町（育成会等）体育事業用具等補助
- 人権教育研修会の開催
- 地域間交流事業の推進
- 福祉のまちづくりの推進
- 世代間交流事業の推進 など



平成28年度決算

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【収入の部】 (単位：円)				
大項目	中項目	予算額	決算額	比較
1 公的補助金	地域いきいき運営交付金	7,934,000	7,933,000	△1,000
	補助金	2,332,000	1,493,500	△838,500
2 負担金	地域負担金	950,000	920,391	△29,609
3 諸収入	雑収入	155,700	140,040	△15,660
4 繰越金	前年度繰越金	1,189,964	1,189,964	0
収入合計		12,561,664	11,676,895	△884,769

【支出の部】 (単位：円)				
大項目	中項目	予算額	決算額	比較
1 事務局費 (共通経費)	1 人件費	3,450,000	2,489,999	960,001
	2 備品消耗品費	250,000	305,582	△55,582
	3 通信運搬費	80,000	76,200	3,800
	4 会議費	400,000	295,080	104,920
	5 旅費	10,000	0	10,000
	6 印刷製本費	615,000	580,798	34,202
	7 使用料	70,000	70,000	0
	8 維持管理費	100,000	131,465	△31,465
	9 その他	410,000	382,290	27,710
	小計	5,385,000	4,331,414	1,053,586
2 事業費	1 総務広報部会	800,000	550,078	249,922
	2 健康福祉環境部会	1,110,000	727,610	382,390
	3 安全防災部会	800,000	494,245	305,755
	4 生涯学習青少年育成部会	860,000	554,283	305,717
	小計	3,570,000	2,326,216	1,243,784
3 配分・委託料	各区への配分・委託料他	3,565,000	3,425,160	139,840
4 繰出金	1 やる気支援補助金	0	0	0
	2 運用資金(災害等基金)	0	0	0
	小計	3,565,000	3,425,160	139,840
5 予備費	予備費	41,664	1,594,105	△1,552,441
支出合計		12,561,664	11,676,895	884,769

平成29年度予算

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

【収入の部】 (単位：円)			
大項目	中項目	予算額	前年比較
1 公的補助金	地域いきいき運営交付金	8,046,000	112,000
	補助金	2,723,000	391,000
2 負担金	地域負担金	975,000	25,000
3 諸収入	雑収入	150,500	△5,200
4 繰越金	前年度繰越金	1,594,105	404,141
収入合計		13,488,605	926,941

【支出の部】 (単位：円)			
大項目	中項目	予算額	前年比較
1 事務局費 (共通経費)	1 人件費	4,400,000	950,000
	2 備品消耗品費	250,000	0
	3 通信運搬費	100,000	20,000
	4 会議費	400,000	0
	5 旅費	10,000	0
	6 印刷製本費	700,000	85,000
	7 使用料	100,000	30,000
	8 維持管理費	150,000	50,000
	9 その他	486,000	76,000
	小計	6,596,000	1,211,000
2 事業費	1 総務広報部会	750,000	△50,000
	2 健康福祉環境部会	940,000	△170,000
	3 安全防災部会	570,000	△230,000
	4 生涯学習青少年育成部会	700,000	△160,000
	小計	2,960,000	△610,000
3 配分・委託料	各区への配分・委託料他	3,585,000	20,000
4 繰出金	1 やる気支援補助金	288,000	288,000
	2 運用資金(災害等基金)	0	0
	小計	3,873,000	308,000
5 予備費	予備費	59,605	17,941
支出合計		13,488,605	926,941

安全防災部会

「交通事故防止」についての勉強会

～事故に遭わない交通安全～

高齢者の自転車・自動車による事故が頻繁に発生しております。事故に遭わないためにはどうしたらよいかなどについて、3月2日(木)、中御所公民館で地域住民に、長野中央警察署交通二課 小賀坂広美巡查部長からお話いただきました。

小賀坂さんは、近くに住むお婆さんに扮して、長野駅前交番の宮島亮子所長との絶妙な掛け合いで、ユーモアを交えて、ポイントを分かりやすくお話いただきました。皆さんは、笑いながらうなずいて理解しておりました。



高齢歩行者の安全通行のポイントは、身近な道路が最も危険!とのことです。歩行中の事故による死者の7割が高齢者で、自宅付近の道路での事故が大半を占めているそうです。

歩行のポイントは、①横断歩道を渡る、②止まって安全確認、③車が通り過ぎるまで待つ、④左にも目配り、です。特に、夜間の外出は見落とされやすい! 夜間事故の特徴は、①昼間の事故に比べて、死亡事故になる率が高い、②横断後半の事故が多い、③走り去った車の、直後横断による事故が多い、④「横断歩道外横断」による事故が多い、⑤昼間に比べて、信号のある交差点で自転車事故が多い、とのことです。

今、行動のときです。交通安全は「私から!」です。横断者及び横断歩道上の安全確認と、歩行者保護の徹底。早めの点灯、ライトのこまめな上下切り替え。自宅近くが特に要注意です。夜間に外出する時には、反射材を活用しましょう。



地域活性化SNSセミナー ～商売繁盛のための活用法～



今、まさに隆盛を極めるSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）。昨今、これをビジネスの現場で有効活用している経営者が増えております。第一から第五地区は中心市街地に位置しており、イベントや祭りだけの一過性の賑わいだけでなく、常に賑わいがある商店街のまちとして何をしたらよいかを考え、人を呼びよせるツールについて研修しました。

今回は、イーンスパイア(株)代表取締役 横田秀珠氏から、多数あるSNSの中から「Instagram（インスタグラム）」と「LINE@（ラインアット）」の2つの主要なSNSについて、「Instagramで新規客を獲得し、LINE@でリピートさせる方法～コストをかけず売上アップ！スマホ時代の集客法～」と題し、講演をいただきました。主催は、長野市地域・市民生活部の「地域きらめき隊」と第一から第五地区住自協で、長野市商工会議所との共催で、2月20日（月）に長野市勤労者女性会館しなのきホールで開催しました。商工業者、飲食業、サービス業、美容師さんなどの関係者や若年層の男女など、約180名以上の受講申し込みがあり、来場されました。

今、Instagramが流行っております。世界で4億人、日本では1,600万人以上がアカウントされております。マスメディア「耳よりの情報」から、スマホ「目からの情報」へと変化しております。情報収集で最も利用しているデバイス・メディアは、スマートフォン（66.9%）、パソコン（26.3%）、テレビ（3.3%）、その他（3.7%）となっております。今やスマホの時代となっております。そして、スマホ利用者のOSタイプの性年代別では、女性の10代、20代が圧倒的にこれを利用されております。

特に若者は、Instagramを検索エンジンとして使っており、主に画像を通して、髪型や洋服・ネイル・メイク・食べ物・観光地などを探す時に利用しております。今やInstagramの検索が新規客にアピール、新規客を獲得する有効な手段ではないでしょうか。

そして、新規客を獲得した後に、リピートさせるLINE@を活用してビジネスをするのが効果的です。

LINE@（企業）のトークに、お客様（LINE）に返信してもらえれば、お客様個人（LINE）と企業（LINE@）が友達になれて、普通の友達同士と同様にトークすることができ、顧客にダイレクトで伝えられる効果的な手段と脚光を浴びております。

現在はこのように、SNSは個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援します。

新規客を獲得し、LINE@でリピートさせる方法は、販売促進の効果的な手段として脚光を浴びており、今後ますます人間関係を構築できる手段として、発展していくのではないのでしょうか。

安全防災部会

“第五地区防災士会”が発足しました ～安心・安全なまちづくりに取り組みます～

長野市の「地域きらめき事業」で、第一から第五地区住自協では、防災意識の向上を目指し、地域に根ざしたリーダーとして、防災士研修講座を受講し試験を受けて、昨年秋に7名の方が「防災士」の資格を取得されました。

【第五地区防災士会名簿】（敬称略）

氏名	町名
戸谷 裕治	中御所
篠原 好一	中御所
田中 嘉昭	末広町
大平 邦夫	南石堂町
中田 長年	南石堂町
井川 誠	北石堂町
関 吉晴	岡田町



このたび、防災士の方で「第五地区防災士会（代表：井川誠氏）」を結成しました。この第五地区防災士会は地域で活動するにあたり、安全防災部会と密接な関係にあり、連携して取り組んでいく必要があります。

このため、第五地区評議委員会（総会）が4月25日（火）に開催され、安全防災部会の協力団体として活動するために、議案を提案して承認されました。今後、安心・安全なまちづくりに取り組んでいただきます。

事務局

第五地区の活動にご意見、ご提案がありましたら、各町の区長さんまたは、事務局にお問い合わせください。

〒380-0833

長野市大字鶴賀権堂町2201番地20

権堂イーストプラザND 1階 第一から第五地区合同事務所

TEL 262-1512 (FAX共通)

メール dai5@feel.ocn.ne.jp